

あそびまつりだより No. 3

2017. 9. 15

頌栄幼稚園

玉入れ（年長組）

あそびまつりを経験したことのある年長組。玉入れのことはよく分かっているので、準備はすぐにできました。（置く位置はバラバラですが。）紅白に分かれるのもいつのまにか「グッパ」が始まり、そこもすぐに決まりました。さあ、審判も決まり開始です！！



みんなで入れると、あつという間に山盛りに。入れてもこぼれ落ちてしまいますが、それでも入れ続けます。いつになったら終わるのでしよう。



「終わりー。」という声で終了しましたが、審判は「白の勝ち。」と急に結果発表。「何で？」さすがにクレームがきました。「だって白の方がかごの上のほうまで入ってるから。」と答えました。

「じゃあ、全部出して数えてみよう。」

チームで違う数え方、おもしろいですね。



赤チームは横に並べて1つずつ数えていきます。「あれっ？今何個だった？」



白チームは10個ずつ並べて数えています。「100個はあるなー。」



それぞれが違う場所で並べていくので、何度も数えなおし、また並べて……。そんな時間が続いていくと、疲れてきて何だかバラバラに。結局、いくつ入ったか分かりませんでした。



10個ずつ並べている白チームは一箇所に集まって数えています。けれど、見ているだけの子も……。数人が率先して並べているようです。

玉入れひとつでも、その時によって遊び方はいろいろです。準備にも時間がかかり、遊ぶところまでたどりつけない時もあります。今回は遊ぶことはできましたが、玉を数えるのに時間がかかり結局いくつ入ったのか分かりませんでした。その経験があり「じゃあ次はどうしよう？」と考えることができるのだと思います。じっと待つことはなかなか難しく、「こうしたらいいんじゃないの？」と言ってしまうようになりますが、子ども達の力を信じてぐっと我慢です。すると……。いろいろな考えが出てくるんです。大人では考えつかないような楽しい子ども達ならではの素晴らしい考え。なかなか前には進みませんが、あそびまつりに向けて「遊んで」いきたいと思います。

遊びの中でのさりげない優しさや友だちとのかかわりをも大切にしていきたいと思っています。